

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 福山鑄造株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒714-0048 岡山県笠岡市緑町3番2
----	-------------------------	----	---

本票作成 部署名：生産管理部

主たる業種	分類コード	22	業種名：鉄鋼業
-------	-------	----	---------

事業の概要 鑄鉄鑄物製造業（鑄鉄管、可鍛鑄鉄を除く） 従業員約90人

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	笠岡工場	岡山県笠岡市緑町3番2

特定事業者の該当要件 ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上
(●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 27 年度)	(平成 29)年度排出量	目標年度(平成 29 年度)
	9,995 t CO ₂	9,928 t CO ₂	9,822 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29)年度排出量
	①	笠岡工場	9,928 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 28 年度	～	平成 29 年度	(2 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(29)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	1.2 %	2.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 総溶解重量 (t)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(29)年度	目標年度
		0.754 t CO ₂ /(t)	0.745 t CO ₂ /(t)	0.739 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・当社では、二酸化炭素排出量の電気の比率が全体の約93%を占めており、購入先の中国電力(株)の排出係数によって二酸化炭素の排出量が大きく影響を受ける。
 ・昨年度と比較して、生産数量及びCO₂排出量は増加したが、CO₂原単位は約1.5%低減することが出来た。しかしながら目標削減率の2.0%に達することが出来なかった。
 (原単位、H29：0.745/H28：0.756)
 ・老朽化した設備の更新について、照明器具、集塵機、圧縮機等、高効率機器の導入を積極的に進めている。

【推進体制】

- ・省エネルギー管理組織の整備：代表者をトップに省エネ活動を実施する。
- ・省エネルギー委員会の整備：エネルギー使用について、分析、検証を行い省エネを実践する。
- ・不良品低減委員会を設置し、製造工程から見直し不良品の低減に努める。
- ・エネルギーに関する専門家からエネルギー診断を受け、現在、随時実施中である。
県地球温暖化対策室（H25年度）、省エネルギーセンター（H25年度）、中国電力（H25, H29年度）

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場 平成29年度実施分	<p>(平成29年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気圧縮機 系統図を整備し空気漏れ防止対策を実施 ・空気圧縮機 電力使用量を分析し高効率機の優先利用を実施 ・電力使用先 電力使用量を把握し現在、省エネ検証を実施中 ・冷却水ポンプ I N V高効率機器に更新 ・事務所照明 L E D照明器具への更新 ・変電設備 負荷配分状況を見直し、効率的配分の実施 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場照明 照明器具L E Dに更新、自然光の有効利用 ・空気圧縮機 吐出圧力の見直し、設定圧力の低減 ・圧縮空気供給系統 系統図を整備し漏洩調査と補修の実施（前年度継続） ・空気圧縮機 高効率圧縮機（I N V機）の優先運転（前年度継続） ・電動機・ポンプ 耐用年数等を考慮し、順次、高効率型に更新 ・集塵機 高効率排風機導入によるエネルギー消費量の低減 ・新規製品 三次元C A Dのシュミレーションによる溶解歩留りの向上 ・乾燥炉 断熱補強、ノズルの高効率化

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・冷暖房の消費電力低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組む。
事務所内の冷暖房設定温度を夏季28℃、冬期18℃を目標値とする。
- ・社有車及び私有車に対し、アイドリングストップなどエコドライブ運動を啓蒙する。
- ・岡山県が実施するライトダウンキャンペーンに参加検討する。